

最終報告に関する説明会

1 開催目的

今回の東京電力福島原子力発電所の事故により深刻な被害を受けられ、調査・検証結果に関心が高いと思われる福島県内の自治体（県庁、市町村）を対象に最終報告について説明を行うとともに、同報告について意見交換を行い、当委員会の調査・検証の結果について、より一層ご理解を深めていただくことを目的として開催いたしました。

2 説明会の対象者

福島県の県庁、福島県所在 59 市町村
（56の自治体にご出席いただきました。）

3 開催日時・場所

日時 平成24年8月7日（火）午後1時から
場所 福島県福島市 エスパル福島5階ネクストホール

4 出席委員等

委員 畑村委員長、柿沼委員、林委員、古川委員、柳田委員、吉岡委員
事務局 小川事務局長 ほか

5 概要

- (1) 委員長挨拶
- (2) 出席委員の紹介
- (3) 最終報告説明
- (4) 委員長所感（調査・検証を終えて）
- (5) 質疑応答、意見交換
〈地方自治体からのご意見等（例）〉
 - 事故調査・検証委員会は、政府に対し、原発の在り方等について、直接意見を述べる立場にあると思っていた。
 - 今回の原発事故の責任の所在をはっきりさせてほしい。
 - 国等は、他国の原発事故に学ぶことなく、安全神話の下、どうしてこれまで原発に対する安全対策をしてこなかったのか。
 - 最終報告の内容は評価できるが、現状のままでは、その提言は生かされないのではないか。
 - 被害住民は、今でも様々な苦しみを抱えており、その対応が必要である。
 - 被害住民にとって、今回の原発事故の収束とは、3月11日以前の姿に戻ることである。